

令和4年度第2回志木市社会教育委員会議録

令和4年8月3日（水）

午後2時～3時30分

いろは遊学館 第1研修室

出席者 委員：竹前榮二、宮原正幸、有馬隆江、一ノ倉達也、市之瀬初男、
野島悦子、鈴木民雄、星野祐子、前田喜春、中村和子、
神谷惣治、青木りえ、荻島亜紗美
（順不同、敬称略）

市：柚木博教育長

今野美香部長

生涯学習課（土崎課長、浅見主幹、塚原主事）

1 開 会 土崎課長

2 委嘱状交付式：出席委員13名
交付：柚木博教育長

3 あいさつ 柚木博教育長

4 自己紹介（出席委員及び市職員）

5 議長及び副議長選任

議長 竹前榮二委員

副議長 有馬隆江委員

6 協議事項 進行 竹前榮二議長

事務局より説明

(1) 各委員の活動報告について

(委員) 文化協会では、2月の芸能祭は中止となったが、今年度の市民文化祭ができればという気持ちで動いている。

(委員) 郷土芸能団体は、3年ぶりに郷土芸能フェスティバルを開催することができた。また、7月31日（日）に開催された新庁舎等完成記念イベントでは、皆様に楽しんでいただけた。お囃子や浦安の舞等、小・中学生にも興味を持っていただいている。

- (委員) 市P連では、9月に予定しているPTAバレーボール大会の準備を行っている。また、子どもたちに何ができるかを考え、先日の会議では志木市の給食について話し合った。
- (委員) 利用者の会では、いろはふれあい祭りの実施に向けて準備を行っている。また、4月23日(土)にSDGsの講演会を実施した。SDGsの活動は、今後の、社会教育委員の活動にも参考になるのではないかと考えている。
- (委員) 連合婦人会の報告になるが、7月31日(日)に開催された新庁舎等完成記念イベントの「水辺で輪おどり」では、連合婦人会より60人参加し、楽しみながら参加することができた。
- (委員) 老人クラブ連合会では、9月に輪投げ大会を控えている。また、町内会と老人会が密接な関係で運営をしなくてはいけないと考えている。
- (委員) 子ども会では、昨年度の2月に「かるた大会」を予定していたが、中止となった。新型コロナウイルス感染状況により、中々難しい状況ではあるが、今年度の2月の「かるた大会」に向けて働きかけていく予定である。各子ども会も開催できるものは開催していこうという考えでいる。
- (委員) 田子山富士塚の活動は、大安・友引の日に少人数ではあるが、活動している。10月には吉田胎内を見に行くバス旅行も計画をしている。田子山富士築造150周年・吉田胎内開基130周年記念事業も非常ににぎやかになっている。
志木のまち案内人の会のほうも、月1回高齢者同士活動を実施している状況である。
- (委員) 志木国際交流会では、コロナ禍の影響は受けたが、屋外で感染対策を講じながら、イベントを実施した。6月に志木第四小学校でSDGsのクラスとして、6年生に向けた外国人サポートの授業を実施した。イベントの他に、外国籍児童の学習支援・外国人保護者のサポートとして、子どもたちの夏休みの宿題のサポートも実施している。
- (委員) 志木おやこ劇場は、今年30周年を迎える。宝幢寺のマルシェでは、フードカントリーの方々と一緒に実施することができた。5月の子ども祭りでは、11団体の皆様に協力いただいた。
11月には、市民会館で大型の人形劇を実施予定である。
- (委員) 今期、大学はオンラインでの授業をやめ、来校型の授業となった。コロナ禍で様々な活動は減ってはいるが、官民学の「学」の部分の担えればと思っている。何かやってみたいと思っている学生が多いので、今後も皆様から色々とお声がけいただきたい。
- (副議長) 図書館の活動は、感染対策を講じながらイベントや、おはなし会を毎月実施している。近年、子どもたちの動画の視聴が、学校の授業時間よりも長いと言われている中で、本を読む機会や、人の話を聞く時間が大切

だと感じている。

また、コロナになって親子でおはなし会に来てくださる機会が増えるなど良い部分もあった。

(議長) 町内会は、週に1回、第二福祉センターからカーレットを借用し、活動している。また、町内会連合会では、コロナで一時、中止となったが、民生委員と合同で研修会を実施した。

(2) 志木市社会教育委員について 浅見主幹

(議長) 志木市社会教育委員について、質疑がある人はいるか。

(委員) 質疑等なし。

(3) 志木市生涯学習推進指針について 浅見主幹

(議長) 志木市社会教育委員について、質疑がある人はいるか。

(委員) 質疑等なし。

(事務局) 資料2-2令和4年度生涯学習課事業計画の「成人式」を「志木市はたちの記念式」に訂正。

(4) 令和5年度県外研修について 浅見主幹

(議長) 事務局から研修について説明してほしい。

(事務局) 県外研修については、2年に1度実施する。研修先によって、予算計上が変わってくるため、来年度予算編成前である今回の会議で来年度の研修先を決めて頂きたい。

候補としては、

①関東甲信越社会教育研究大会（令和5年度は神奈川大会）。

②志木市の社会教育施設である、八ヶ岳自然の家。

③はその他として視察研修として希望する場所があれば検討。

(議長) 関東甲信越社会教育研究大会の時期はいつなのか。

(事務局) 時期は秋頃に実施している。

(議長) 関東甲信越静社会教育研究大会のように外からの意見を反映していくことは非常に重要だと考えている。

(委員) 神奈川に行くということか。

(事務局) 令和5年度は神奈川になる。前回は埼玉で実施した。

(委員) 色々なところに行くのは大切なことなので、関東甲信越静社会教育研究大会で良いのではないか。

(議長) では、①の関東甲信越静社会教育研究大会で良いか。

(委員) 異議なし

8 閉 会 有馬隆江副議長